

Press Release

< 新製品 >

脆弱なネットワーク防御のために 中規模、マネージドサービスプロバイダ向けラインアップ強化 TippingPoint 110/330モデル IPS 提供開始

～ あらゆる環境へのIPS導入を可能に。195万円から ～

IPS自動不正侵入防御ソリューションのTippingPoint Technologies,Inc (日本支社：東京都豊島区、日本支社長：谷口 忠彦)は、中規模、マネージドサービスプロバイダ(MSP)向け製品ラインアップ「TippingPoint 110/330」を、9月28日(月)より提供を開始します。

TippingPoint 110と TippingPoint330は デジタルワクチン®*のフィルタリングサービスによって包括的なトラフィック検査を実行し、脅威となる攻撃を防御することによって、ネットワークに危害が及ぶのを防ぎます。さらに、TippingPoint 管理マネジメントシステム (SMS) を使うことによって、両製品を含めた各拠点に設置されているIPSを一元管理することができます。

最近増加しているサイバー犯罪は、ワームやマルウェアをダウンロードさせるために、SNSやアフェリエイトを使用するケースもあり、またウェブアプリケーションの脆弱性の攻撃の80%以上がPHPファイルインクルード、クロスサイトスクリプティング、SQLインジェクションで占められています。TippingPoint IPSソリューションにより攻撃を受ける度にパッチ適用、アラート通知作業を行う必要がなくなるため、ITセキュリティコストが軽減され、同時に重要なアプリケーションのために帯域が確保されることでIT資源を効率良く使用する事が出来ます。

既存製品は、エンタープライズ向け200Mbps～5.0Gbpsのスループットであったため、2009年6月に小規模向けラインアップ「TippingPoint 10」20Mbpsを販売開始しましたが、この度、中規模およびマネージドサービスプロバイダからの要求により、100Mbpsおよび300Mbpsのスループットの製品によるラインアップ強化を図りました。

*デジタルワクチン®は、TippingPointのセキュリティサービスチームであるDVLabs(IPS専用のフィルター開発ラボ)で開発されるフィルターセットです。最新の脆弱性に対応したフィルターを最低週1回定期配信(緊急時は随時)

TippingPoint IPS の概要

TippingPoint IPS シリーズは、広範囲な不正侵入や攻撃、ハッキングの脅威から大切な情報資産を守るインライン型 IPS です。既存ネットワーク環境を変更せず簡単導入、運用後もメンテナンスフリーとなります。

■新ラインアップ

製品スペック		TippinPoint 110	TippingPoint 330
性能	インスペクションスループット	100 Mbps	300 Mbps
	遅延	< 600 μsec	< 600 μsec
	コネクション数	250,000	250,000
	コネクション数/秒	9,700	18,500
ハードウェア仕様	セグメントインタフェース	8x10/100/1000BaseT (4セグメント)	
	AC電源	100-240 VAC universal, 50-60 Hz 121W, 412BTU/hr	
	サイズ	4.42 cm × 42.55 cm × 46.35 cm	
	重量	6.8 kg	

■販売開始日：2009年9月28日（月）

■販売価格：195万円（初年度ライセンスフィー込）から

TippingPoint Technologies inc.について

世界的に著名な情報セキュリティ研究者によるIPS専用機の開発ならびにフィルタ開発を進め、ワールドワイドに営業拠点(US 15拠点、EMIA 8拠点、APAC 9拠点)を構えます。日本支社は2006年設立。IPSとしては最多の40超のアワードを世界中で受賞しています。本社：米国Austin,Texas 従業員数：350名

プレスリリースに関するお問い合わせ先
TippingPoint Technologies inc.日本支社

PR 担当：PR@tippingpoint-japan.com

TEL:03-5979-2535/ FAX:03-5979-2121
〒170-6045 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 45階